

【エクアドル経済:2016年11月】

1 EUとの通商協定への加入に関する議定書への署名

(1) 11日、ホルヘ・グラス・エクアドル副大統領が、EUとコロンビア及びペルーとの通商協定へのエクアドルの加入に関する議定書に署名し、同日付で副大統領府プレスリリースが発出された。

(2) 11日付副大統領府プレスリリースの概要は次のとおり。

ア 11月11日、グラス副大統領は、エクアドル政府を代表し、欧州閣僚、コロンビア及びペルーの代表と共に、EUの多国間通商協定へのエクアドルの加入に関する議定書に署名した。本議定書は後に、欧州理事会から欧州議会に送付される。

イ ブリュッセルの欧州理事会本部で行われた本式典において、同副大統領は、エクアドルの輸出品へのEUの関税撤廃によるエクアドルの生産性向上への期待を述べた他、同議定書の2017年1月1日の発効のため、数週間後までの欧州議会における承認が得られることへの自信を述べた。

(3) 本件に係る報道振りは概要以下のとおり。

ア 11日、グラス・エクアドル副大統領及びPeter Ziga スロバキア経済大臣等により、エクアドルのEUとの多国間通商協定への加入について合意された。右に関しグラス副大統領は、署名された議定書について、エクアドルと欧州議会における承認を得ることへの確信を述べた。

イ 本議定書が欧州議会で議論されるためには、欧州議会の国際貿易委員会（INTA）が右に関する報告書を作成し、欧州議会本会議にて報告者より発表されなければならない。右報告書については現在草案作成段階であり、11月末には完成する予定。また、右本会議は、12月12日～15日に開催予定。エクアドル国内では、11月14日、右議定書について、エクアドル政府が憲法裁判所に意見を求めている。右意見を踏まえ、国会での審議が予定されている。

2 EFTAとの自由貿易協定締結に向けた交渉開始

14日、EFTA諸国との自由貿易交渉の開会式がキト市にて開催された。右に関する同日付エクアドル貿易省プレスリリース及び報道振りのポイントは以下の通り。

(1) エクアドルは、新たな市場の確保のため、11月14日、EFTAとの自由貿易協定に関する第一回交渉を行った。

(2) バナナ、マグロ、エビ、バラのようなエクアドル産品の同市場への輸出が拡大することが期待される。同ブロックに対する2015年のエクアドルの輸出総額は約335,417百万ドルであった。EFTAは1千3500万の高い購買力を持つ人口を持ち、右はエクアドル産品の潜在的消費者である。

(3) 同交渉には、加盟4国の代表が参加し、代表として参加したKarin Buchel（スイス）は、医薬品、機会類、魚類、公共調達への参加への関心を示した。カシネリ貿易大臣

は、本自由貿易に関する合意に係る条件は、今次EUとの通商協定を基礎とすることができる旨述べた。